

災害から命を守るために備えましょう

初夏から秋にかけては水害が発生しやすい季節です。水害はまだ大丈夫と以为ていても、急激に状況が変化する場合があります。危険が迫ってからでは手遅れになることもありますので、異変を感じたらすぐに対応できるよう日頃から準備をしておきましょう。

災害に備えた事前確認

①避難所や危険箇所の確認

自宅からの適切な避難所や周辺の危険箇所についてハザードマップなどで事前に確認しましょう。また、避難する経路の安全確保も重要です。

②自宅での安全確保

自宅での安全が確保できる場合は、在宅避難を検討しましょう(2階以上へ垂直避難)。ただし、自宅での安全確保がされていないにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症拡大を恐れて避難することを迷わないように注意してください。

③避難する場所の検討

市が指定した避難所だけでなく、災害の危険のない親戚や友人・知人の家など、避難所が密集・密接状態になることを防ぐために検討しましょう。

④衛生管理に必要な物資などの持参

避難所では衛生用品を十分確保することが難しくなります。感染防止や健康の観点から避難所へ携行する物(食料や水など)に下記のものも加えて持参してください。

- ・マスク(タオルなど)
- ・体温計
- ・アルコール消毒液
- ・ティッシュ、ペーパータオル、ウエットティッシュ
- ・ポリ袋
- ・最低3日分の食料と飲料水
- ・常備薬
- ・スリッパ
- ・着替え
- ・つめ切り
- ・生理用品 など



自分の住んでいる場所が避難の必要がある場所か確認する

市では、国、愛知県、気象庁と連携をとり、気象情報に注視しながら、命の危険がおよぶ場合には、いち早く避難情報(警戒レベル3以上)を発令し、皆さんに避難をお願いします。

避難情報を発令した場合には、市内の避難所を随時開設しますが、自宅の2階以上への避難(垂直避難)することも大変有効となります。

弥富市が発令する避難情報

今年度から従来使用されてきた「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に統一されました。気象庁および市が発令する避難情報につきましては、以下のとおりです。

警戒レベル (洪水・土砂災害)	状況	市民の行動	避難行動を促す情報
警戒レベル 5 既に災害が発生している状況です	災害が発生または切迫	命の危険、直ちに安全確保	緊急安全確保
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~			
<b>警戒レベル 4</b>	災害発生の恐れが高い	危険な場所から全員避難	避難指示
<b>警戒レベル 3</b>	災害発生の恐れがある	危険な場所から高齢者らは避難	高齢者等避難
<b>警戒レベル 2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
<b>警戒レベル 1</b>	今後気象状況悪化の恐れ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

市が、災害の恐れがあり避難が必要と判断した場合は、避難情報(警戒レベル3以上)を発令し、防災行政無線や広報車、携帯電話の緊急速報メール、市ホームページ、防災情報ツイッターなどを通じてお伝えします。

避難情報(警戒レベル3以上)が発令される前でも、自主的に判断して、早めの避難を心がけましょう。

## 避難のために考えておきましょう

### ◎自主避難

自主避難所に関しては、原則、飲料水、食料品、日用品、寝具などの提供を行いません。各自の判断で最低限の必要品を用意して避難してください。

